

雨降る妻籠宿 幻想的 氷雪の灯祭り

南木曾 南木曾町の
旧中山道妻籠

宿で十八日夜、道沿いにアイスキャンドルを並べる「氷雪の灯祭り」があり、観光客らが宿場を照らすろうそくの明かりに見入っ

た。地元住民でつくる実行委の主催で、新型コロナウイルスの影響で三年ぶりの開催。メンバーが用意した氷の器六百個ほどを設置し、地元の蘇南高校の生徒

たちも矢が刺さったハート形に器を並べた。

当日は小雨が降るあいにくの天候。それでも器内に立てられたろうそくの明かりはすぐに消えず、ぬれた地面に反射し、町並みをいつもとは違う雰囲気に変え

た。観光案内所ではホットワインの振る舞いなどもあり、集まった人々を楽しませた。

友人と写真撮影に訪れた岐阜県多治見市の会社員水野芳夫さん(60)は「柔らかな光が町並みと合つ。派手なイルミネーションと違っていいですね」と目を細めていた。
(戸田稔理)



宿場の道沿いに並びアイスキャンドル＝南木曾町の妻籠宿で